

「未来」は、「今」にあるのです。
将来、実現したい何かがあるなら、
今、行動しなければなりません。



2005年2月、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイ博士(中央)が東京・信濃町の旧聖教新聞本社を訪れ、池田先生(右)と夫と出合いを結んだ。

逆境を勝ち越えた英雄たち

今年、池田大先生と、ワフワの隣りの母、ワンガリ・マータイ博士が出会いを結んで20周年に当たる。2005年2月18日、マータイ博士は、これまでワフリカに5000万円以上の植樹を推進した「グリーンベルト運動」の創設者、創価大学パン・アフリカ友会の友が歓迎し、青年学者の代表らが同席した会見で、池田先生が青年へのメッセージを求めると、ほほ笑みながら語った。「未来は、ずっと先にあるわけではありせん。『未来』は『今』にあるのです。将来、実現したい何かがあるなら、今、そのために行動しなければなりません。『へこれない』人生に打ち勝ち

された確信あふれる言葉は、博士の崇高な信念そのものだった。博士は1940年4月、ケニア中部の小さな村で生まれた。国内では当時、女性に教育は必要ないと思われていたが、家業を手伝いつつ、併せて学業優秀で高校をトップの成績で卒業。周囲の推薦で奨学金を得てアメリカの大学に留学する。生物学の研究を通してケニアの農業に貢献したいと願い、修士課程を修了。帰国後は国立ナイロビ大学で博士号を取得し、女性初の教授職に就いた。



植樹を行う女性たち。のべ10万人が参加した「グリーンベルト運動」は女性の地位向上や貧困からの脱却にも寄与してきた。Photo by Wendy Stone/Corbis via Getty Images

「グリーンベルト運動」の中でマータイ博士が大切にしたのは「主体性」だった。運動では、参加者と地域の問題点について話し合う場がたびたび持たれた。博士が問題の原因を問うと、ほとんどの人が「政府の責任」と答えた。すると、博士は笑顔でこう返したという。「すべてを政府のせいにしても何の解決にもならないでしょう。『自分たちで解決できる』ことはないか、小さなことでも『一緒に考えてみましょう』」

4面に続く

第49回 ワンガリ・マータイ

々が伐採され、農家の畑は輸出用の作物を育てるための耕作地に変わっていった。土壌の浸食、食料や水不足、栄養失調、砂漠化の進行……。森林破壊がもたらした問題は深刻だった。故郷では、神木として大切にされてきたイチジクの木が切り倒されていった。そこで思いついたのが「植樹」である。水を植えれば、まきや家畜の飼料を得られる。張った棒で土の流出を食い止められる。果実のなる木なら食料になる。と。そして77年6月5日、「世界環境デー」に当たるこの日に、「世界環」は「グリーンベルト運動」の始まりとなる最初の7本の苗木を首都ナイロビ郊外の公園に植樹。その後の全国キャンペーンで運動への関心は高まり、参加を希望する農場や学校、教会が増えていった。運動の中心を担ったのは農村の女性たちである。皆、日々の生活に追われて専門知識を学ぶ余裕はなかったが、博士は地元元の伝統的な技術や知恵を生かして植樹を行うよう提案。彼女たちが地面に線をつけて作業する姿を見て、あざ笑うエリート層もいたが、博士は全く意に介さなかった。「私はじっと黙って、博士は言う。『私はじっと黙って』と、どうしようか』と考えるんだ。りはしなかった。『問題を理解すること、その問題について何行動を起こすのはまったく別のことだ』」

「グリーンベルト運動」の中でマータイ博士が大切にしたのは「主体性」だった。運動では、参加者と地域の問題点について話し合う場がたびたび持たれた。博士が問題の原因を問うと、ほとんどの人が「政府の責任」と答えた。すると、博士は笑顔でこう返したという。「すべてを政府のせいにしても何の解決にもならないでしょう。『自分たちで解決できる』ことはないか、小さなことでも『一緒に考えてみましょう』」

連続「ヒーローズ」の過去記事が電子版で読めます(有料会員)

ご意見・ご感想をお寄せください 【メール】news-kikaku@seikyo-np.jp 【ファクス】03-5360-9613

HEROES

ヒーローズ

(2月9日付)

4面に続く

SECOM 約96%の方が、安心を実感! 24時間・365日、夜中でもセコムが駆けつけます! 親の見守りプラン/シニアの安心プラン ご利用料金 月額 5,060円(税込) ぐつと握るだけでセコムが駆けつけます! セコムは防犯だけじゃない、健康の見守りも。 救急ボタンのマイドクターを身に付けておけば、突然の体調不良やケガの時、握るだけでセコムに救急通報ができます。 お客様の通報を受け、24時間365日、全国約2,600の緊急発進拠点からセコムがお住まいへ急行します。体調が気になる70代・80代の皆さん、あなたの健康をいつでも見守るセコムホームセキュリティをぜひ始めませんか? セコム・ホームセキュリティ 資料請求、ご相談はこちら! お気軽にお電話ください。 0120-017-756

急な体調不良で動けず 困った時、セコムはすぐに来てくれて安心しました。 76歳

HEROES ヒーローズ

マータイ博士を通して語る池田先生
 どんな壁が立ちほだかろうと、
 勇敢なる青年の行く手を
 阻むことはできない。
 「壁を破る」——
 これこそが、青年の特権である。

逆境を勝ち越えた英雄たち



マータイ博士が東京・八王子市の創価大学で講演。「博士を支えた希望は？」との学生からの質問に、「あきらめずに、何か行動を起こすことが私の信条」と応じた。この日、博士に創大名譽博士号が授与された(2006年2月)

何かを変えたいければ、自分自身から。
 生きていくこと自体が素晴らしい体験
 なのだから、楽しんでいかなければ！

「これから、何かを変えたい」と思うのであれば、まず「自分自身から変えなければならぬ」。そして、自分自身が先頭に立って変えなければいけない。「生きていくこと自体が素晴らしい体験」なのだから、楽しんでいかなければ。そのように思います。

先生は心から賛同し、「仏法の真髄もまた、「生きる」とそれ自体が楽しい」という自分自身をつくる点にあります。自分自身を変える——それが、すなわち「人間革命」の哲学です」と応じた。

その後交流は続き、翌2006年2月、再び日本を訪れた博士は創価大学で講演。ケニアにある「グリーンベルト運動」の事務所に創価教育同窓の友を招いたこともあった。

博士が11年の尊い人生の輝きを語ったのは、2011年9月である。先生は提案で博士の名を冠するイチゴの木が植樹されたアメリカ創価大学には、この年、新たな



アフリカの環境の母・マータイ博士。「マータイ・スマイル」と呼ばれる輝く笑顔で世界の人々を照らした (AFP+時事)

2002年には、一度は落選した国会議員選挙に再出馬。得票率88%で当選を果たす。新たな大統領が誕生して独裁政治に終止符が打たれ、マータイ博士は環境・天然資源省の副大臣に就任する。

そして04年12月、「持続可能な開発」民主主義と平和への貢献」が認められ、アフリカ人女性初のノーベル平和賞が贈られた。



アメリカ創価大学のマータイ校。マータイ博士が逝去した2011年に完成し、後に名が付けられた

「教育棟が誕生。後に「マータイ棟」と命名された。

悲報の翌月、先生は偉大な足跡をたえつつ、随筆にまつづつた。

「戦う青春は明かされた。どんな壁が立ちほだかろうと、勇敢なる青年の行く手を阻むことはできない。「壁を破る」。これが、青年の特権である。

「できないことを心配するよりも、できることを考えるのだ」。これは先月25日、世界中から借りましたつ遊去されたケニアのワシントン・マータイ博士が、自らを鼓舞していた言葉である。(中略) 苦しまずして、悩まずして、な

マータイ博士が訪日し、東京の池田先生のもとを訪ねたのは、ノーベル平和賞の受賞から2カ月後のことだった。

「皆さまが仏教の教えにもついていた深い価値観を持っていることに感銘しています。しかも、これらの価値観が、社会に根を張っている。皆さまの思想は「生命を大切にする」思想です。「人間の生命と社会を大切にする」思想です。

池田会長は、生涯をかけて、大切な価値観を何百万という人々に広めておられます。この重要性を理解する方々とともに、私は池田会長に、心から最大の感謝を捧げたい。池田会長ご自身が「人類への素晴らしい贈り物」だと私は思うのです。

さらに「若い人々には、素晴らしい未来が待っているのです」と青年への期待を語りつつ、こう言葉を継いだ。

第49回 ワンガリ・マータイ

【引用・参考】ワンガリ・マータイ著『UNBOWED へこたれない ワンガリ・マータイ自伝』小池百合子訳(小学館)、同著『モッタナイで地球は緑になる』(小学館)、同著『未来対話—君と歩む歩むの道』(聖教新聞社)ほか

マータイ 『MOTTAINAI』で地球を救おう(気摩書房)、池田大作著『未来への選択』(潮出版社)、同著『未来対話—君と歩む歩むの道』(聖教新聞社)ほか

環境クリエイターって、どんな人？

高砂熱学は、あたらしい空気を生み出す、
 さまざまな人がいます。
 人々のくらしをつつみ、つないでいく。
 その空気も、それをつくる人の姿もみえない。
 だけど、感じることはできる。ほら、深呼吸をするたびに。
 空気が増った技術で、その神組みをこえて。
 私たちは、人に、社会に、
 最適な空気を生みだしていきます。

環境革新で、
 地球の未来をきりひらく。

環境クリエイター®
 高砂熱学

空調空間 クリエイター
 カーボンニュートラル クリエイター
 まちづくし クリエイター
 スペースライフ クリエイター

